



ニュースリリース

平成 24 年 11 月 5 日
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設工事の受注について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 高橋 誠）環境ソリューション事業部（事業部長 山田 良介）を代表企業とする新日鉄住金エンジ・新明和特定建設共同企業体（構成員 2 社^{※1}）は、佐賀県西部広域環境組合^{※2}（管理者 塚部 芳和（伊万里市長））から「佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設工事」を受注いたしました。

当社としては、本件が佐賀県での初受注となります。当社シャフト炉式ガス化溶融炉の国内受注実績は、本件を加え計 40 件と国内最多であり、九州では福岡県、大分県における実績^{※3}に次ぎ 6 施設目となります。

佐賀県西部広域環境組合では、広域ごみ処理施設の処理システムについて、①圏域内から排出されるごみの安定的な自区内処理、②住民の安全・安心、③埋立処分場の縮小化を最優先に検討を行い、最終的に「スラグ化システム」のガス化溶融方式（シャフト炉式）が採用されました。なお、事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式にて行われました。

本件は、当社シャフト炉式ガス化溶融炉の特長（高温溶融により多様なごみの確実な溶融処理、スラグ・メタルの有効利用による埋立処分量の削減、発電によるエネルギーの積極活用、万全な環境対策と安全性）と長期安定稼働実績に基づく信頼性、スラグ・メタルの有効利用等を高くご評価いただいた結果、当共同企業体が落札者に決定されたものです。

施設稼働後は、マテリアルリサイクル推進施設（粗大ごみ処理施設）から発生する可燃残渣に加え、不燃残渣についてもエネルギー回収推進施設にて溶融処理を行い、スラグを有効利用することで、埋立処分場の削減・縮小化を実現します。

当社はガス化溶融炉の建設を通じて、循環型社会に貢献する、安全・安心な廃棄物処理を実現いたします。

※1 構成員：新日鉄住金エンジニアリング株式会社、新明和工業株式会社

※2 佐賀県西部広域環境組合の構成市町：4 市 5 町

伊万里市、武雄市、鹿島市、嬉野市、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

※3 福岡県：北九州市、飯塚市、糸島市、玄界環境組合

大分県：大分市

<工事概要>

- 1) 工事名称 : 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設工事
- 2) 発注者 : 佐賀県西部広域環境組合
佐賀県伊万里市立花町 1542 番地 24
- 3) 工期 : 平成 24 年 10 月 29 日～平成 27 年 9 月 30 日
- 4) 受注金額 : 13,912,500,000 円 (税込)
- 5) 施設概要 : ①エネルギー回収推進施設
処理方式 : ガス化溶融方式 (シャフト炉式)
処理量 : 205t/24h (102.5t/24h×2 炉)
- ②マテリアルリサイクル推進施設 (粗大ごみ処理施設)
処理方式 : 破碎、選別
処理量 : 22t/5h

[お問い合わせ先]

総務部広報室 03-6665-2366